



HOPPY team TSUCHIYA
レース結果報告書
2024SUPER GT Rd.6 スポーツランドSUGO

■日時	2024年9月21-22日	■車両名	HOPPY Schatz GR Supra GT
■場所	スポーツランドSUGO	■ゼッケン	25
■監督	土屋 武士	■ドライバー	佐藤公哉／松井孝允
■チーム	HOPPY team TSUCHIYA	■リザルト	予選 21位／決勝 完走扱いにならず

雨に翻弄された SUGO

ピット作業に時間を要し、完走扱いならず

9月21、22日、宮城県のスポーツランドSUGOにおいてSUPER GT第6戦「SUGO GT300km Race」が開催され、No.25 HOPPY Schatz GR Supraはウエットコンディションのなか、21番手からスタートを切った。途中、他車と絡むアクシデントに見舞われ、イレギュラーピットインを強いられるも、レース復帰を果たして52周を走破。チェッカーは受けたが、周回数不足により残念ながら完走扱いにはならなかった。

夏の第5戦 鈴鹿が台風10号接近の影響を受けて開催延期となったため、前回の富士戦からずいぶんと時間が経ってしまいました。ホピ子にとって、およそ1ヶ月半ぶりのサーキットになりましたが、皆さんいかがお過ごしでしたか？ SUGO入りの前はまだまだ残暑を感じる天気が多く、いつになったら秋がくるの!? と辟易してた矢先、SUGOに来たら、いきなり雨の洗礼を受けるとは！ もう、どうなってるの!?

さて、SUGOでのレースですが、去年は富士でのクラッシュの後の開催だったので、ホピ子はお休みしてたんですね。だから、またここに戻ってこられたことがとてもうれしく、迎えてくれたファンの皆さんの前で力強く走りたい！ という気持ちでSUGO戦を迎えました。なのに、搬入日の金曜からどうして雨に降られなきゃならないの、とちょっと恨めしく思った次第です。

SUGOでのレースは2年ぶりだけど、そのときはポイント獲得も果たしたゲンの良いサーキット。それに、7月中旬にはGTエントラント（GTE）協会主催のGT300テストに参加、いろんなメニューに沿ってテストをこなすだけでなく、そのデータをもって“最新ホピ子”の成長を見てもらえる絶好の機会だと考えてました。だけど……、そう、そうなんです。搬入日翌日の予選を迎えた土曜日になっても、分厚い雲に覆われた空から雨がずーっと降ってて。もうレインタイヤでしか走れない状態！ とはいえ、レースの世界は“タラ・レバ”を言い出したらキリがないし言ってもどうにもならないので、目の前の状況をしっかりと見て、今できることを忠実にやろうと気持ちを切り替えたホピ子でした。

一方、チームとしては皆さんに残念なお知らせをしなければならなかったんです。今シーズンの開幕戦からホピ子をドライブしてくれている菅波冬悟くんが、体調不良によって今大会をお休みすることとなりました。チームのみんなまで回復することを願ってたんだけど、熱が下がらないので、参戦取りやめに。代わって佐藤公哉くんが出走してくれることになりました。皆さんご存知のとおり、公哉くんはチームの第3ドライバーであり、シーズン中はずっと帯同してくれているので、チームそしてホピ子としてもなーんにも心配はありません。今回は、

“リザーブドライバー制度”なるものを活用し、参戦したんですよ。

さて、土曜日の朝は午前9時15分から公式練習がスタートしました。もちろん、本降りの雨です。気温17度、路面温度20度のコンディション！もう驚くしかないホピ子です。セッションが始まると、レインタイヤを装着したGT300、GT500両クラスのクルマが続々とコースインする事態となりました。みんな、路面の“様子見”なんてしてませんでした。実のところそれには理由があったのです。というのも、もし予選実施が叶わない場合は、この公式練習でマークした各車のベストタイムを決勝のスターティンググリッドとして採用する可能性がある、という話が前日にあったから。なので、全車、少しでもいい条件下でアタックしようとセッション序盤から積極的にコースインしていたのです。もともと他のサーキットと比べても距離が短い上にアップダウン差も大きく、またエスケープゾーンも決して広いとは言えないSUGOだけに、アクシデントやハプニングに遭遇する可能性も高くなりがち。クルマのセットアップも難しいコースを雨のなか走らなきゃいけないとなれば、どうしたっていつも以上にドライバーの皆さんも熱が入るんでしょう。開始早々からコースアウトやクラッシュもあって、セッション中には合計6回！も赤旗中断となりました。雨量はもちろん路面温度が低いので、縁石に乗ってなくとも挙動が乱れてコントロールできずにコースアウト……そんなシーンもあって肝を冷やしたホピ子です。セッション中は孝允くんが無事にドライブしてくれました。ベストタイムは1分34秒335、21番手でした。一番雨量が少ない時にクリアラップが取れなかったことが残念だったんですけど、それでも無傷で終わってくれたことが一番ですよ。チームのみんなもホッとしていました。

雨は午後に入っても変わらず降り続けました。それでも年に一度のSUPER GTを観に来てくださったファンの皆さんが、ピットウォークの時間にチームピットに足を運んでくださいました。実は、ピットウォーク中は傘が使えないんですよ。気温も低いなか、レインポンチョ等を着用して来てくださった皆さんには、感謝しかありません。本当にありがとうございました！

予選開始予定は午後2時45分。でも思うほど天気は回復せず、10分遅れて開始予定に変わりました。ところがその間に、チーム監督ミーティングが行なわれ、天候回復が見込めないことからセッションをキャンセルすることが決まりました。午後3時10分前のことでした。その後、小一時間ほど2回目のピットウォークが行なわれたんですが、冷たい雨のなかでもずっとサーキットに残ってくださった皆さんの姿を見て、改めて決勝での奮闘を誓ったホピ子でもありました。

なお、予選がキャンセルになったため、決勝のスターティンググリッドは公式練習時の結果が採用されることに。ということで、ホピ子はクラス21番手からのスタートになりました。

迎えた日曜日。やっぱり雨になりました。がっかりです(苦笑)。しかも、前日よりも激しく降ってるじゃないですか！いろんな天気予報のアプリがあるけれど、どれもだんだん雨の降る時間が長くなって、気持ちが塞がります。サポートレースもスタート時間が何度もディレイされ、ようやくセーフティカースタートしたと思ったらアクシデントがあったりして結局赤旗終了……。誰も大きな怪我などしなくてホッとしましたが、雨のレースはいろんな意味でリスクを伴うだけに、午後からのSUPER GTの開催のことが余計に気になったホピ子でした。

当初の予定より、30分遅れで進行するとアナウンスされたものの、サーキットは正午あたりから豪雨に！横殴りの雨のなか、オールドドライバーズアピランランスもやったけど、いったいこの先どうなるのかと心配ばかりが募りました。それでも午後1時には小雨のなかでフリー走行がスタート。気温17度、路面温度18度ながら、上

空から薄日が差すまで回復し、もう雨は降ってこないで欲しい！と願ったのは言うまでもありません。このセッションでも足をすくわれ、スピン、コースアウトするクルマが見受けられたけれど、なんとかコンディションキープのままスタート進行を迎え、レースに向けてのピット出口オープンまでこぎつけました。

やった！レースができる!!と心躍ったホピ子。そのときスタンドから大きな拍手が聞こえてきたんです。ずーっとずーっと寒いなか、雨に濡れながら待っていてくれたファンの皆さんからでした。その様子を見たとき……ホピ子は泣けてきました。モータースポーツが大好きな人たちの温かい気持ちに触れ、それに応えるレースをしなきゃ！皆さんに喜んでもらえるようにがんばらなきゃ！と思いました。戦いを前に、いつも以上に背中を押してもらった気がしたんです。ほんとありがたかったなあ。

こうして無事、午後2時22分に2周のフォーメーションラップがスタート。まだ不安定な路面のためにセーフティカー先導によるレース幕開けになったんですが、4周目から事実上のレースとなり、公哉くんが第1ステイントを担当しました。とにかく落ち着かないコンディションだからポジションも上がったと思ったら下がってしまうなど、思ったような走りができなくて。GT500、GT300 両クラスとも大小さまざまな出来事がコース上で発生してたんです。まさにサバイバルな戦いでした。ホピ子はポジションが下がるなか、20周終わりにピットインしてスリックタイヤへと交換。すぐにペースは上がらないけれど路面がドライアップしてくれば、後方からの追い上げができるはず！と敢行したんです。気も新たにコースへと向かいました。ところが、復帰後しばらくして、別の2台の車両と絡むアクシデントに遭遇……接触よって公哉くんは術なくコースサイドにホピ子を止め、レースはこれを機にセーフティカーが導入されることになりました。

まさかの展開になったものの、ピットで様子を見守っていたチームは、すぐさま気持ちを切り替えて今できることを探っていました。そして戻ってきたホピ子に40分ほどの修復作業を行ない、再びコースへと送り出してくれたんです。今度は孝允くんと一緒にレースに向かいました。足元は当然スリックタイヤ！難しい条件のなかで周回を続け、いい情報を得ることになりました。実は、スリックの新しいタイヤとホピ子の相性が良いとわかったんです！ずーっと試してきたなかで、なかなか見えなかった答にたどり着いたのかな？アンダーステアが解消方向にあることがわかり、もやもやしていたものがなくなりました。すーっと霧が晴れて視界良好！みたいな感じですかね（笑）。

SUGOでのレースそのものはアクシデント遭遇で“順位”としての結果を残すことはできませんでした。そもそも修復に時間がかかったので、チェッカーを受けても周回数が足りず完走扱いにはならなかったんです（涙）。残念だけど、規定周回数が決まっているから仕方がない。そんななかで、次に繋がるものが見つかったのは大きな“ご褒美”でもありました。武士監督も「これでセットアップを進めていける」と安堵してましたよ。前向きな気持ちでSUGOを後にし、次のオートポリス戦へと臨むことができるってうれしいことです。

シーズンが後半戦に入り、チームによってはシリーズチャンピオンだのランキングだの……と騒いでるんでしょうが、ホピ子たちの戦いはまだまだこれから。一步一步できることを見定めて取り組むのみ。SUGOのレースウィークでは、あれこれいろんなことがありすぎたけど、それもレース。なにひとつ無駄なんてものはなく、すべてがこの先に繋がっていくと信じてオートポリスの準備に取り掛かりますね。

SUGOにお越しくくださった皆さん、本当に雨のなかお疲れ様でした。たくさんの応援が身に沁みたるレースウィークでした。TVを観ながら戦いの行方を見守っていたファンの皆さんも疲れたのでは？ 今度こそ、秋晴れの好天の下でいいパフォーマンスをお見せしたいと思うホピ子です。またオートポリスでお会いしましょうね！

■レースを終えて

【松井 孝允】

鈴鹿大会の延期に伴い久しぶりのスーパーGT のレースになり、相性の良いスポーツランド SUGO で非常に楽しみでした。菅波選手が体調不良となってしまいました。佐藤選手が帯同していたおかげで事なきを得ました。コンディションもウエットとドライの両方を判断することが出来たので、決勝での不運なアクシデントもありましたが後半戦に向けての準備は進んでいるなど感じました。

結果は出ていなく悔しいですが、ここからがスタートなので引き続き応援宜しくお願い致します。

今回も雨の中、応援ありがとうございました！

【佐藤 公哉】

SUPER GT 菅生大会は体調不良の菅波選手の代役でドライブさせていただきました。

予選は豪雨の影響でキャンセルとなりフリー走行の結果でグリッドが決まり、21 番手から私がスタート担当しました。ウエット路面から乾いていく中でレインタイヤのコンディションが厳しくなりコース上でアクシデント車両を目視したこともありピットともコミュニケーションをとりピットイン、スリックに交換、給油のみでピットアウトしました。アウトラップではまだ路面は濡れている箇所が多く非常にシビアな状況でしたが、その中 SP コーナーで後方から来た順位を争っている車両の接触にあい戦線を離脱しました。

その後なんとかピットまで戻り、修復作業から松井選手に交代してチェッカーを受けましたが周回数が足らず完走とはなりませんでした。

多くの思いを背負って走っている 25 号車、車両を壊してしまったこと、順位を争っている車両の邪魔をしてしまったこと、レースの進行を乱してしまったこと、申し訳ありませんでした。

次戦オートポリスも応援宜しくお願いいたします。

【菅波 冬悟】

今回はレース直前に体調を崩してしまい走ることが出来ず、僕が走ることを楽しみにしていただいていた方達には本当に申し訳ない気持ちです。佐藤公哉選手が代わりにしっかりと走ってくれました。

ありがとうございます。チームから今回のレースで収穫が多くあったと聞いています。

次回のオートポリスラウンドでは今回お休みした分、元気な走りを出来るように頑張ります！

【土屋 武士監督】

第6戦菅生ラウンドも沢山の応援をありがとうございました！ 特に大雨の中、現地で見守って下さった皆さんには本当に頭が下がります。我々に多くのパワーを送っていただきました。本当にありがとうございました！

レースは残念な展開となってしまいました。ドライ用の新しいフロントタイヤを試すことができ、これまで何をやってもダメだった部分が解消方向になったことで、ようやく戦えるスタートラインに立てたと感じることができました。シーズンも終盤戦に入ってしまったのですが、我々はここからが開幕という感じです。しかしまだまだやるべきことは山積みですので、しっかりと一つ一つ積み上げて上位を目指していきたいと思います。

次戦も応援のほどよろしく願いいたします！

【問い合わせ先】

つちやエンジニアリング合同会社

〒252-0822 神奈川県藤沢市葛原2507

TEL : 0466-49-5010 FAX : 0466-49-5011

担当： 土屋・佐々木